

県道成田小見川鹿島港線整備促進を要望

県道成田小見川鹿島港線は、成田市から多古町(赤池十字路)、香取市を経て茨城県神栖市に至る道路で、「成田空港」と「鹿島港」を結ぶ重要幹線道路です。しかしながら、本線は道幅が狭くて屈曲する箇所が多く、大型車両等の通行に支障をきたしており、成田空港周辺では慢性的な交通渋滞が発生している現状です。

このようなことから、去る11月11日、*県道成田小見川鹿島港線整備促進協議会は、千葉県や千葉県議会並びに千葉国道事務所に対し、本線の整備促進と早期完成が図られるよう要望書を提出しました。

多古町議会からは、伊藤副議長が出席しました。

*成田市、富里市、香取市、多古町、東庄町、茨城県神栖市の6市町で構成。



赤池十字路付近

圏央道「東金～茂原間」の建設現場を視察

芝山町・多古町議会連絡協議会では、多古町と芝山町が連携して圏央道の建設促進を図っています。そこで、去る11月18日、両町の議員19名は「茂原北インター」「真名トンネル」建設現場の視察をしました。本区間は、平成13年度に事業化され、現在工事が進められています。

今後とも圏央道の早期完成が図られるよう、本協議会において強く要望活動をおこなってまいります。



いきいきフェスタ TAKO 2009

いきいきフェスタTAKO 2009が11月23日に開催されました。

オープニングセレモニーでは、餅つきが行われ、来場者に振舞われました。伊藤副議長も5人づきに参加し、祭りを盛り上げました。

また、ベジタブル&フルーツコンテストでは、多古町議会議長賞に森田榮さん(五辻)が大和芋で受賞されました。おめでとうございます。



開会式であいさつを述べる伊藤信也副議長



議員定数等調査特別委員会

今後の議員定数を協議

多古町議会では、平成21年9月定例会において、議員全員による「議員定数等調査特別委員会」を設置し、議員定数の協議をおこなっています。

議員定数は、地方自治法によりその市町村の人口規模に応じて上限が定められています。多古町の人口規模によると、議員定数は22人以内と規定されていますが、現在の議員定数は、町の条例により18人となっております。

「議員定数等調査特別委員会」では、行財政改革や分権型社会が進む中、今後の新しい時代にふさわしい地方議会のあり方を模索し、その状況に合った議員定数の調査研究を進めております。

委員長を務める柳下清議員



議員全員により協議しています

広報委員会

福島県広野町議会を視察研修!!

平成20年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した福島県広野町議会を11月4日訪問し、広報づくりについて研修をしました。

訪問した広野町は、「東北に春を告げるまちひろの」として、福島県中部に位置し、東に太平洋、西には阿武隈高地の山々が連なり、美しい自然環境に恵まれた町です。また、東京電力の火力発電所との共生を生かしたまちづくりをしています。人口は5,400人余りで、交通網整備や企業誘致などに力を入れているため、誘致した企業への就労者が多く、活気に満ちた町の様子を感じました。

『議会広報ひろの』は、昭和59年に創刊しており、平成18年からは毎年全国コンクールで奨励賞や入選など、優秀で学ぶべきことが多く、大先輩であると思えました。広野町では、「内容の文章が長いと読む意欲がわかない」という

町民の声を考慮し、わかりやすい紙面、読みやすい紙面づくりに取り組んでいました。記事のレイアウトを工夫したり、文章だけにならないように要約するなど努力されていました。短く簡潔な見出しや内容で大変参考になりました。

意見交換では、町民のみなさんに、いかにして議会だよりを読んでいただくか、また、議会に対して関心を深めていただくかなど、共通の課題があり、様々な意見がでました。時間の経過を忘れるほど熱心に質疑を交わしました。

この研修を生かして、町の行政が町民の皆さんにどう関わっているのか、議論質疑をわかりやすく、お知らせしていきたいと思えます。議会広報は、『あなたと議会のツー・ウェイ・コミュニケーション』架け橋となってお届けしてまいります。



編集で心掛けていることを熱心にご説明いただきました

